慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	第83巻(第1-4号 特別号I, II)総目次 : 平成二年度
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1991
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.83, No.4 (1991. 1) ,p.1- 3
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19910101-0234

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第83巻 (第1～4号 特別号I，II) 総目次 (平成二年度)

〈小特集：経済学会コンファレンス——市場機構と産業組織——〉

		号	頁	通頁
「市場機構と産業組織」特集号について	川又　邦雄	2	1	215
戦略的コミットメントと経済厚生	奥野（藤原）正寛 鈴村興太郎	2	6	220
戦略的な品質選択と経済厚生	鈴村興太郎 常木　淳	2	21	235
寡占市場における製品差別化行動の厚生分析——2段階ゲーム——	石橋　孝次	2	30	244
R＆D競争の理論と政策の再検討	白井　義昌	2	50	264
企業の結託と経済厚生	川又　邦雄	2	71	285
危険回避と情報伝達——クールノー複占市場のケース——	酒井　泰弘 吉住　昭彦	2	79	293
企業内管理組織と不確実性	川島　康男	2	99	313
推測変動の動学的解釈と Chamberlin 均衡	大山　道広	2	110	324
コンテスタビリティ理論とその政策的含意	南部　鶴彦	2	121	335
日本企業における労働意欲と企業文化	奥野（藤原）正寛	2	131	345

〈小特集：アダム・スミス没後200年〉

		号	頁	通頁
アダム・スミスと輸出奨励金	羽鳥　卓也	4	1	801
アダム・スミス没後200年	福岡　正夫	4	22	822
スミスにおける貨幣・利子・公債——貨幣的経済の古典的・批判的認識——	飯田　裕康	4	40	840
『国富論』体系における「生産と消費の均衡」	大友　敏明	4	56	856
読まれざる『国富論』と可能性としてのスミス——解体期ナポリ啓蒙の一断面——	奥田　敬	4	88	888
メンガー『方法論』におけるスミス解釈について——歴史学派のスミス解釈との関係を中心に——	池田　幸弘	4	110	910

論　　　説

		号	頁	通頁
貨幣生成モデルの展望	福岡　正夫	1	1	1
福沢諭吉と武士道——勝海舟，内村鑑三および新渡戸稲造との関連において——	飯田　鼎	1	16	16
大戦期ナチス・ドイツにおける女性労働動員（上）	矢野　久	1	34	34
2人経済におけるワルラス均衡のナッシュ実行可能性について	中村　慎助	1	54	54
タフ・ヴェイル判決とイギリス鉄道労働運動（V）	松村　高夫	1	63	63
名誉革命体制評価をめぐるヒュームとウォーレス（IV）	坂本　達哉	1	88	88
回帰モデルの誤差項の正規性検定（1）	蓑谷千凰彦	2	148	362
タフ・ヴェイル判決とイギリス鉄道労働運動（VI）	松村　高夫	2	187	401
一般均衡モデルの実証分析への応用：CGE モデルの発展過程と現状	浦田秀次郎	2	213	427
イギリスにおける戦災都市再開発政策の展開，1940年—1945年	長谷川淳一	2	239	453
理財科の30年：1890—1920年	西川　俊作	3	1	485
1980年代における日米経済関係と日本経済	井村喜代子	3	30	514
日本労働組合論事始	小松　隆二	3	54	538
工業化の商品属性アプローチ	高梨　和紘	3	70	554
マルクスの利潤率低下論	寺出　道雄	3	91	575
第二次世界大戦下ドイツ民衆の外国人労働者像	矢野　久	3	106	590

回帰モデルの誤差項の正規性検定（2）	蓑谷千凰彦	3	132	616
アメリカの軍事力増強と軍事支出増大の恒常化について② ——アイゼンハワー政権期の冷戦・軍事戦略——	延近　充	3	165	649
環境の経済学的評価の検討——富士スバルラインを例として——	島本美保子	3	194	678
ブリストルにおける戦災地再開発政策の展開 1940年—1945年	長谷川淳一	3	216	700
ジャクソン期アメリカ　ある東部農民の生活と思索	岡田　泰男	4	126	926
マルクス的な資本主義の長期動向論——試論——	寺出　道雄	4	149	949
ポーランド王国の経済的発展をめぐる「東方市場」論争史序説（4）	神代　光朗	4	162	962
大戦期ナチス・ドイツにおける女性労働動員（下）	矢野　久	4	185	985

研究ノート・資料

計画と剰余	寺出　道雄	1	121	121
イギリス産業革命期における生活水準論争再訪（下）	松村　高夫	1	133	133
アナール学派の家族史研究 ——J.-L.フランドラン，M.セガレーヌの業績を中心として——	岡田あおい	1	156	156
擬クールノー型寡占市場における過剰参入定理に関するノート	竹島　正男	3	240	724
ベトナム戦争と“ベトナム・周辺地域”向け輸出 ——ベトナム戦争の日本経済への影響——	井上　弘基	3	246	730
第二次世界大戦期の朝鮮人強制連行・強制労働	松村　高夫	3	264	748
チャールズ・ブース『ロンドンの民衆の生活と労働』の手稿をめぐって	高井　哲彦	4	203	1003

批　判・応　答

歴史人口学におけるミクロとマクロ——方法論的リプライ——	斎藤　修	2	262	476

書　評　論　文

歴史人口学におけるミクロとマクロ——日本およびドイツ語文化圏における ‘Historical Demography’ の比較——	村山　聡	1	176	176
近代日本100年の自己認識を振り返る 川合隆男編『近代日本社会調査史（Ｉ）』江口英一編『日本社会調査の水脈——そのパイオニアたちを求めて』	中川　清	3	283	767
常行敏夫『市民革命前夜のイギリス社会 ——ピューリタニズムの社会経済史——』	寺尾　誠	4	218	1018

書　　評

中村勝己著『経済的合理性を超えて』	田中　豊治	1	191	191
矢内原勝・小田英郎編『アフリカ・ラテンアメリカ関係の史的展開』	服部　伸六	1	195	195
Shinya Sugiyama, *Japan's Industrialization in the World Economy, 1859–1899: Export Trade and Overseas Competition*	古田　和子	1	202	202
中村勝己編『受容と変容——日本近代の経済と思想』	飯田　鼎	1	206	206
根井雅弘著『マーシャルからケインズへ——経済学における権威と反逆——』	丸山　徹	1	211	211
高須賀義博編『シンポジウム≪資本論≫成立史 ——佐藤金三郎氏を囲んで——』	飯田　裕康	2	265	479
ディルク・ブラジウス著，矢野久・矢野裕美訳『歴史のなかの犯罪——日常からのドイツ社会史』	室井　俊通	3	297	781
ロバート・E・ライタン著，馬淵紀壽・塩沢修平訳『銀行が変わる——グラス＝スティーガル体制後の新構図——』	金子　隆	3	301	785
関満博・加藤秀雄共著『現代日本の中小機械工業 ——ナショナル・テクノポリスの形成——』	渡辺　幸男	3	306	790
宇沢弘文著『「豊かな社会」の貧しさ』	細田　衛士	3	311	795
浅田喬二著『日本植民地研究史論』	松村　高夫	4	229	1029

飯田鼎教授退任記念論文集（83巻特別号－Ⅰ）

頁

社会政策四〇年――わが社会政策研究の想い出―― ……… 飯田　鼎　1

≪経済史・思想史≫

The Yokohama Specie Bank ――多国籍銀行業務分析，1879―1931―― ……… 玉置　紀夫　13

日本における思想家の個人紙誌 ――1910年代～20年代を中心に―― ……… 小松　隆二　27

水戸学立原派における「民富論への模索」――小宮山楓軒と大内正敬を中心として―― ……… 小室　正紀　38

初期 J. S. ミルの統治改革論と政治経済学 ……… 立川　潔　59

≪社会政策・労働運動史・労働問題≫

20世紀初頭のイタリア労働組合運動（1901年～1911年） ……… 横山　隆作　75

西ドイツ労働市場論にむけて ……… 大塚　忠　86

韓国労働運動史の一駒――1970年代女子労働者の闘争と都市産業宣教活動―― ……… 吉田　千代　104

日本における職業紹介法（1921年）の成立過程 ――本格的な労働市場社会政策の登場―― ……… 澤邉みさ子　122

日本最初の健康保険法（1922年）の成立と社会政策 ――救済事業から社会政策への転換―― ……… 西村万里子　138

パートタイム労働者の人事管理――大手スーパーを中心にして―― ……… 青山　悦子　155

出向・転籍の増大と大企業高齢者雇用 ……… 下田　健人　173

都市銀行における第3次オンライン化と新人事政策 ……… 清山　玲　188

飯田鼎名誉教授略歴 ……… 205

飯田鼎名誉教授著作目録 ……… 206

矢内原勝教授退任記念論文集（83巻特別号－Ⅱ）

〔国際経済学・地域研究〕

はじめに ……… 深海　博明・大山　道広・高梨　和紘

≪発展途上経済――アフリカ・アジア――≫

ナイジェリアとザンビアの農業および都市・建設現場間の労働移動 ……… 矢内原　勝

タンザニア，キリマンジャロ州の工業基盤 ……… 高梨　和紘

現代中国における資本蓄積メカニズムの変容 ……… 渡辺　利夫

中国の経済近代化と体制改革 ……… 唐木　圀和

在タイ日本人社会生活調査 ……… クントン・インタラタイ

インド鉄鋼業の発展過程 ……… 小島　真

ベトナム経済の自由化――その展開と問題点―― ……… 岩崎　恵弘

韓国の銀行自由化と産業組織 ……… 首藤　恵

フィリピンの労働者の海外送り出し政策 ……… 山形　辰史

≪国際経済――課題・理論・体制――≫

地球環境問題の重大化と持続的発展 ――特に発展途上国における両立・調和の可能性を中心に―― ……… 深海　博明

冷戦後国際経済システムの方向性と日本の対応 ……… 首藤　信彦

企業行動と国際貿易――Ricardo＝Mill モデルの再解釈と拡充―― ……… 大山　道広

経済成長と国際外部経済 ……… 寺崎　克志

ガットと新分野（New Issues） ……… 佐々波楊子

おわりに ……… 矢内原　勝

矢内原勝教授略歴および業績 ………